

<第1章 調査の概要>

第1章 調査の概要

1. 調査目的

県政の諸問題について、県民の意見や要望等を把握し、今後の施策立案に際しての基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査項目

- (1) ボランティア・NPO活動について
- (2) 防災意識・防災対策について
- (3) 食習慣・生活習慣について
- (4) 地域医療の充実について
- (5) 教育について
- (6) 県政の重要度と満足度について

3. 調査設計

- (1) 調査地域 香川県全域
- (2) 調査対象 満20歳以上の県民
- (3) 標本数 3,000
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送法
- (6) 調査時期 平成27年6月10日～7月1日

4. 回収状況

- (1) 標本数 3,000
- (2) 有効回収数 1,576 (52.5%)

5. サンプル設計

- (1) 母集団 香川県内の市町に居住する満20歳以上の県民
- (2) 標本数 3,000
- (3) 地点数 150地点 (市部：125地点、町部：25地点)
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

【層化】

県内の市町（8市9町）を次のように5圏域に分類した。

圏域名	構成市町
1 高松圏域	高松市・三木町・直島町・綾川町
2 東讃圏域	さぬき市・東かがわ市
3 小豆圏域	土庄町・小豆島町
4 中讃圏域	丸亀市・坂出市・善通寺市・宇多津町・琴平町・多度津町・まんのう町
5 西讃圏域	観音寺市・三豊市

さらに、各圏域内を市町の規模によって、

①高松市 ②高松市以外の市 ③町 に分類して、それぞれを層とした。

【 標本数の配分 】

各層における母集団数（平成27年4月2日現在の選挙人名簿登録者数）の大きさにより、3,000の標本数を比例配分した。

【 抽出 】

- ①第1次抽出単位となる調査地点として、平成27年4月2日現在の投票区を使用した。
- ②調査地点数については、1調査地点あたりの標本数が20前後になるように、各層に割り当てられた標本数から算出して決定した。
- ③調査地点の抽出は、調査地点数が2地点以上割り当てられた層については、

$$\left(\frac{\text{層における選挙人名簿登録者数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right)$$

を算出し、等間隔抽出法により該当番目が含まれる投票区を抽出した。

- ④抽出に際しての各層内における市町の配列順序は、総務省設定の市町村コードに従った。
- ⑤調査地点における対象者の抽出は、調査地点（投票区）内から選挙人名簿によって等間隔抽出法で抽出した。
- ⑥以上の結果、圏域別・市町規模別における標本数・調査地点数は次のとおりである。

【 圏域別・市町規模別 標本数および調査地点数 】 上段:母集団数 下段:標本数、()内は調査地点数

圏域 \ 市町別	高松市	高松市以外の市	町	計
1 高松圏域	345,758 1,266 (63)		46,806 172 (9)	392,564 1,438 (72)
2 東讃圏域		71,252 261 (13)		71,252 261 (13)
3 小豆圏域			26,345 96 (4)	26,345 96 (4)
4 中讃圏域		163,236 598 (30)	57,507 210 (12)	220,743 808 (42)
5 西讃圏域		108,344 397 (19)		108,344 397 (19)

6. 報告書の見方

- (1) 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出し、少数第2位を四捨五入した。
このために、百分比の合計が100.0%にならないことがある。
- (2) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢の有効回答数に対し、それぞれの割合を示しています。このために、その比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- (3) 図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- (4) 本文、図表、集計表に用いた符号等の意味は次の通りです。

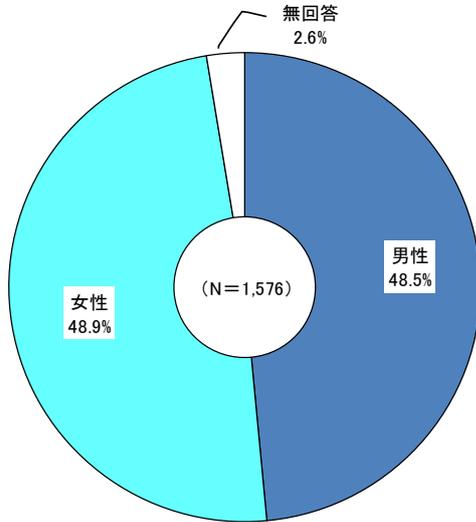
N：質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数

<第2章 調査回答者の属性>

第2章 調査回答者の属性

1. 性別

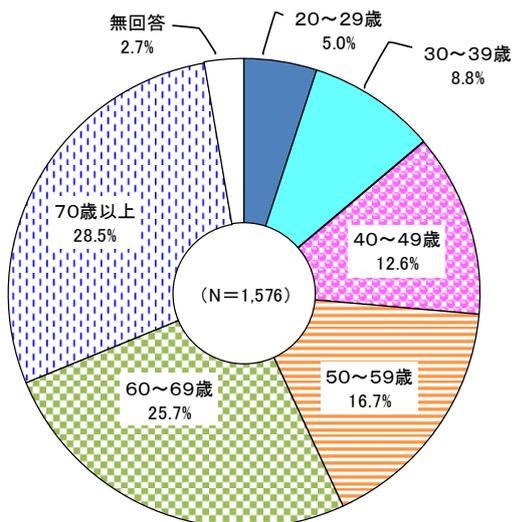
性別について、「女性」(48.9%)、「男性」(48.5%)となっている。



項目	回答数 (人)	構成比 (%)
男性	765	48.5
女性	770	48.9
(無回答)	41	2.6
計	1,576	100.0

2. 年齢

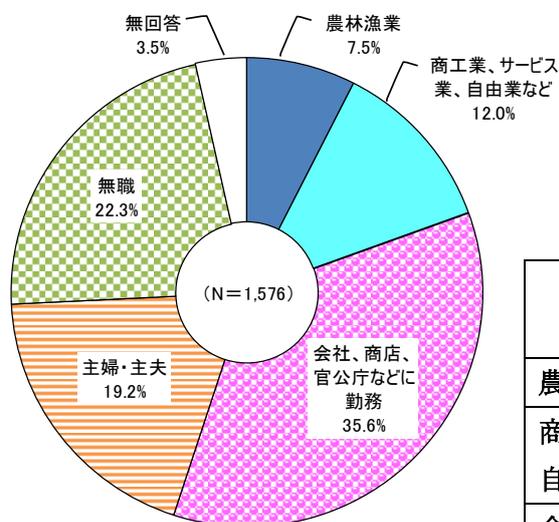
年齢について、「70歳以上」(28.5%)が最も多く、次いで「60～69歳」(25.7%)、「50～59歳」(16.7%)、「40～49歳」(12.6%)などとなっている。



項目	回答数 (人)	構成比 (%)
20～29歳	79	5.0
30～39歳	139	8.8
40～49歳	199	12.6
50～59歳	263	16.7
60～69歳	405	25.7
70歳以上	449	28.5
(無回答)	42	2.7
計	1,576	100.0

3. 職業

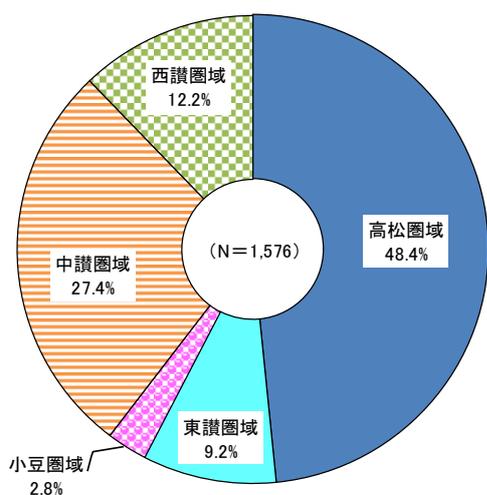
職業について、「会社、商店、官公庁などに勤めている」(35.6%)が最も多く、次いで「無職(学生を含みます)」(22.3%)、「主婦・主夫」(19.2%)、「商工業、サービス業、自由業などを営んでいる」(12.0%)などとなっている。



項目	回答数 (人)	構成比 (%)
農林漁業	118	7.5
商工業、サービス業、自由業など	189	12.0
会社、商店、官公庁などに勤務	561	35.6
主婦・主夫	302	19.2
無職	351	22.3
(無回答)	55	3.5
計	1,576	100.0

4. 圏域

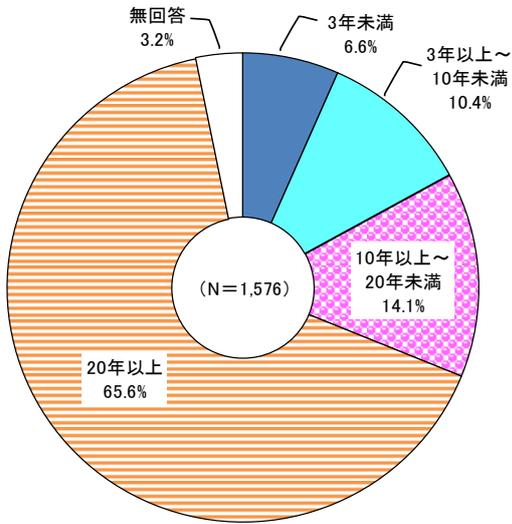
圏域について、「高松圏域」(48.4%)が最も多く、次いで「中讃圏域」(27.4%)、「西讃圏域」(12.2%)、「東讃圏域」(9.2%)などとなっている。



項目	回答数 (人)	構成比 (%)
高松圏域	763	48.4
東讃圏域	145	9.2
小豆圏域	44	2.8
中讃圏域	432	27.4
西讃圏域	192	12.2
(無回答)	-	-
計	1,576	100.0

5. 居住年数

居住年数について、「20年以上」(65.6%)が最も多く、次いで「10年以上～20年未満」(14.1%)、「3年以上～10年未満」(10.4%)、「3年未満」(6.6%)などとなっている。



項目	回答数 (人)	構成比 (%)
3年未満	104	6.6
3年以上～10年未満	164	10.4
10年以上～20年未満	223	14.1
20年以上	1,034	65.6
(無回答)	51	3.2
計	1,576	100.0
